

最低賃金と労働力の確保

—最低賃金の引き上げ・全国一律制の必要性

労働力の偏在、疲弊する地域経済を転換するには

最低賃金は昨年10月改定で平均1004円となりましたが、最大220円もの地域間格差となっており、時給の高い都市部に労働者が偏在するなど、人口の一極集中や地域経済の疲弊を招いています。

本学習会はこういった情勢のもと、専修大学経済学部の山縣宏寿准教授をお招きし、「最低賃金と労働力の確保—最低賃金の引き上げ・全国一律制の必要性—」と題する、学習会を開催することといたしました。国会議員のみならず、最低賃金を引き上げ、全国一律制にしていく必要性について学びます。ぜひご参加ください。

この学習会への参加を推薦します

| | | |
|--------|-------|--------------------------|
| 務台 俊介 | 衆議院議員 | 最賃一元化議連事務局長 |
| 末松 義規 | 衆議院議員 | 立憲民主党最低賃金アップ問題ワーキングチーム座長 |
| 宮本 徹 | 衆議院議員 | 日本共産党厚生労働部会長 |
| 大石 あきこ | 衆議院議員 | れいわ新選組共同代表 |
| 福島 みずほ | 参議院議員 | 社会民主党党首 |
| 伊波 洋一 | 参議院議員 | 沖縄の風 |



=講師=
山縣 宏寿
専修大学准教授

PROFILE: 専修大学経済学部准教授、労働総研常任理事。専門分野は、労働政策、労使関係、人事労務管理。IFSAM Organizing Committee Secretariat、日本経営学会常任理事付幹事、社会政策学会幹事、労務理論学会理事など。

▶日時: **5月23日(木)**
12:15~14:00

※ご講演は12:30~13:30

▶会場: **ビジョンセンター赤坂(永田町)**

千代田区永田町1-11-28 合
人社東京永田町ビル

